

一生を24時間に置き換える ～3学期始業式 学校長式辞から～

3学期が始まりました。3学期は、1年間で最も短い学期です。3年生が学校に来るのは、今日も入れてあと18日です。卒業に向けて高校生活最後の仕上げをする時です。挨拶や言葉遣い、学校生活の様子を見ていると社会に出しても大丈夫だと思えるほどしっかりしてきました。下級生にさすが3年生と言われるようなうしろ姿を見せて卒業して行ってほしいと思います。

2年生にとっては、この3学期は2年の3学期というより3年のゼロ学期であると言えます。3年生としての1年間は短いです。だから2年生は、この3学期を3年生への助走期間にしてください。しっかりと助走を取って、4月から3年生としてそれぞれの進路に向けてより高くジャンプしましょう。

1年生は、去年の今頃どんなことを考えていましたか。中学校の先生や家の人と進路について相談し、高校受験に向けてがんばっていたことと思います。「初心忘るべからず」と言いますが、もう一度その頃の気持ちを思い出して、4月から2年生として新たな気持ちで高校生活をスタートさせるための3学期にしましょう。

さて、新年を迎えみんな一つ年を取るわけですが、日本人の平均寿命がいくつか知っていますか。男性が80歳、女性が86歳だそうです。

人の一生を1日の24時間に置き換えて考えてみます。どういうことかというと、人が生まれた時、つまりゼロ歳を午前0時とします。そして亡くなる時を夜中の12時として、人の一生を24時間で換算するわけです。そう考えると、みなさんの年齢が何時に当たるかわかりますか。

0歳が午前0時、80歳が夜中の12時。ちょうど真ん中の40歳が昼の12時です。じゃあ、20歳は何時でしょう？朝の6時ということになります。昨日は成人の日でしたが、20歳でもまだ朝の6時でしかないのです。

16歳は朝の4時48分、17歳は朝の5時6分、18歳は朝の5時24分です。つまり、まだ人生の夜明け前なのです。まだ寝ている時間ですね。みんなの才能はまだ眠っているのです。1日はこれから始まります。いろいろな自分の可能性に目覚めて起きだすのはこれからです。さまざまな事に興味を持ち、想像力を養うことで視野が広がります。

「成功の反対は、失敗ではなく何もしないこと」です。旺盛な好奇心で、いろいろなことに挑戦し、自分の可能性を伸ばしましょう。まだ夜明け前です。何でもできます。時間は十分にあります。

今、氷上西高校の新たな挑戦として、音楽クラブとフットサルのチームを作る準備をしています。ぜひ興味のある人は一緒にやりましょう。

(校長 高橋信之)